

冬の遠足はじめました

湖南高校だより

信濃県 湖島 立通 南学 福高 校 責任者 校長 秦 尚志



二月二十二日(金)に、冬の遠足としてファミリースノーパークぼんばい×2に行ってきました。スキー場では、椎谷耕二同窓会長様をはじめとした湖南町在住の方々をボランティア指導員としてお招きしてのスキー教室を行いました。体育のスキー授業で養った技術力を、それぞれの段階で伸ばす様子と、たくさんの笑顔が輝いた一日でした。生徒からのアンケートでもほとんどの生徒が上達を実感し、楽しく参加できていた様子がわかりました。生徒の感想を一部掲載します。

午後の自由時間では普段喋らない友達とリフトに乗りながら会話したり、滑ったりして、思っていたよりすごく思い出せる行事でした。(一年女子)

最初はものすごく怖くて帰りがたかったけど、何回も練習していくうちに少しずつ楽しくなり、最後の滑りで一番長く滑れました。(一年女子)

時間が経つのが本当に短く感じ、何なら今までが一番楽しかった行事では?と思えるものでした。(二年男子)

初めはできなくても、自

誠実 校訓
志高 勤勉
自律 協同



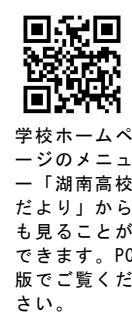
分に向いていないと決めつけて諦めるのでなく、何度も挑戦することが大事だと考えさせられる機会になった。来年もぜひ行きたい。(二年女子)

最初はスキーなんてやりたくないと思っていました。でも講師の先生の教え方がわかりやすくて、すぐに滑れるようになりとても楽しかったです。(二年男子)

スキーをやった時、先輩と話をすることができました。普段とは違ったコミュニケーションが取れるのがよいと思いました。(二年女子)

私が湖南に来てから三年経ちました。その間に様々な事がありました。良いことも、悪いことも・・・そんな中、改めて思ったことは「出会い」「あいさつ」の大切さです。

湖南町はとても温かい人が多いです。私自身、湖南町の方々に触れたことにより改めて「あいさつ」の大切さに気付きました。皆さんは、入室時に「こんにちは」「や「こんばんは」の一言とともに入ってくる人ですか?それとも何も言わないで入ってくる人ですか?学校以外の場所ではどうですか?確かに「知らない人ばかりの部屋」だったら声はかけにくいかもしれませんが。しかし、その人達も顔を合わせる機会が増えるにつれて、「知らない人」ではなくっていきま



そして、「出会い」について。その場で終わるものもあれば一生の付き合いとなる出会いもあります。どれをとってもかけがえのないものなので、大切にしていきたいでしょう。進級・卒業と環境の変わる時期でもあります。これから出会うであろう相手に良い第一印象をもってもらえるように心がけていきましよう。(黒須由華・くろすゆか・二年副担任)

除雪ボランティア
 二月七日(木)に、平成九年から続いている除雪ボランティアを行いました。今年も雪が少なく、気温も高い中での実施となりました。

「あいつ」をしない、あいつはしてこない、感じの悪い人ではなく、あいつができる笑顔の似合う社会人になることを目指して下さい。

「あいつ」をしない、あいつはしてこない、感じの悪い人ではなく、あいつができる笑顔の似合う社会人になることを目指して下さい。

「あいつ」をしない、あいつはしてこない、感じの悪い人ではなく、あいつができる笑顔の似合う社会人になることを目指して下さい。

ペニャ校がPCだ
 ムニ高かど
 ホームページ
 学校「湖南」
 一だよ見ま
 一だよ見ま
 一だよ見ま